

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ
2018-19 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2018-19 年度国際ロータリーテーマ インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

第 18 回 例会 NO. 2430 2018 年 11 月 21 日 (水)



■司会進行 浅野文夫 SAA



- 点鐘 足立宗禅副会長
12時30分
- Rソング 「手に手つないで」
- 出席 会員 50 名
出席 33 名・欠席 17 名
- 出席率 73.33 %

●前々回出席率 87.23 % 修正後出席率 93.75 %

●欠席者【敬称略】

石渡正明・齊藤新一・嶋津正和・鈴木秀幸
三沢 猛・大澤藤満・倉島和広・塚本秀夫
濱田昌己・藤永範行・吉田和義・渡邊元貴

●メイクアップ【敬称略】

- ・11/14 第1回親睦会
渡邊元貴・山田修平・横田秀介
嶋津正和・石渡雄悟・石田 亨
叶川博章・大里光夫・渡邊慎司
小林裕治・小林千晃・鶴岡大治
内田 重・石渡正明・金見和子

●誕生祝【敬称略】

- ・11/20 山中 恵

●結婚祝【敬称略】

- ・11/17 梶山克己

おめでとう!



ホームページ <http://ki-east-rotary.ala9.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 元 貴
幹 事 大 里 光 夫
編 集 勝 呂 泰 樹

国際ロータリー

RI 会 長 バ リー・ラ シ ン
地区ガバナー 橋 岡 久 太 郎
ガバナー補佐 吉 野 和 弘

■副会長挨拶・報告

足立宗禪 副会長



本日は、会長に代わってとのことで不慣れと言うよりも生まれて初めての事で、イザ、挨拶しかもあらかじめ原稿をとということで、歴代会長の例会挨拶がさりげなく1年間良く話されたものと驚きの一語でした。

さて、季節も晩秋から初冬にかかり、年の瀬もまじかの感を思わせられます。

私は、仕事柄常に目に見えない運というものに気を配って居ります。が、今年で平成の時代が終わり改元がおこなわれ、来年は天皇の退位と皇太子の天皇即位という、日本の国の一大転換の年に成ります。

今年の自然災害を思うと、新年の卓話でお話をさせていただきますが、あまり明るい話題にはならないだろうと思います。千支が己、亥で、己は陰の土、亥は陰の水で五行で土と水はお互いを尅する(お互いが殺しあう)、千支が陰と陰で相尅するときで、物事が無事に済むとは思われないと考えて居ります。

どうも、会長に代わってと言う事でしたが、お茶を濁させて頂きました。

まだ12月が残っています。皆さん風邪に気を付けて年末を大事に過ごして下さい。

■幹事報告

大里光夫幹事

1. 幹事報告

1) 米山奨学会及びR財団への寄付金については、11月26日(月)付けにて送金手続きをさせていただきます。R財団に関しては27日以降は12月レートとなりますのでレート確認を事務局までお願いいたします。

2. 他クラブからのお知らせ

1) 木更津RC・君津RC・富津中央RCより「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

2) 君津RC・袖ヶ浦RCより「週報」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

1) 木更津交通安全推進協議会より「平成30年冬の全国交通安全運動の実施について」が届いておりますので回覧いたします。

4. 回覧

・木更津RC・君津RC・富津中央RCより「例

会変更のお知らせ」

- ・君津RC・袖ヶ浦RCより「週報」
- ・木更津交通安全推進協議会より「平成30年冬の全国交通安全運動の実施について」

■委員会報告

・ゴルフ愛好会

坂井健治会員

「第2回渡邊会長杯コンペのお知らせを」を本日送付いたします。奮ってご参加ください。



・クラブ管理運営委員会

プログラム担当

近藤直弘会員



来週11月28日のオープン例会には、新日鉄住金かずさマジックの渡辺俊介さんに卓話を頂きます。ご案内で、ご同伴者のお願い文を出させて頂きましたが、締め切りを今週11月24日まで延期いたしますので、皆様再度お声かけお願いいたします。

◇ニココボックス クラブ管理運営委員会

内田 重会員

・楢山克己会員

結婚記念日の祝い花束をいただき有難うございました。



・山中 恵会員

誕生日祝いの記念品ありがとうございました。今年も娘達が、夕食に招待し祝ってくれました。歳をとるのも良いものです。

・渡邊慎司会員

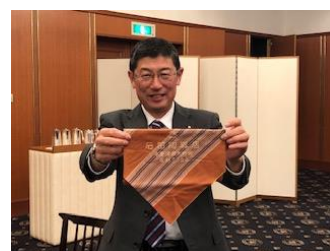
今日の卓話は、会員の職業を知ってもらい、理解を深めればと思います。渡部さん、豊田さん、浅野さんよろしくお願いたします。

・藤野宏治会員

11月17日に、当社アパマンショップのオーナーセミナーをおこないました。多くのオーナー、ロータリーの先輩方にもご来場いただき無事終わることができました。

・石田 亨会員

金見会員から大切な「フロシキ」をいただきました。50年位前の石田陶器店の名入れです。家宝にしたいと思っております。ありがとうございました。



<とても嬉しそうな石田会員>

■例会アワー 10 分間卓話
テーマ
「私の仕事そして職業奉仕」

◇職業奉仕委員会 <司会> 渡邊慎司委員長



本日は、渡部会員、豊田会員、浅野会員のお三方に会社紹介や職業奉仕について卓話をいただきます。

・渡部和夫 会員 【(株)鹿島商店 取締役会長】



自己紹介から始めます。

私は木更津の南町、今の富士見で生まれ、木更津第一中学校、木更津高校、千葉工業大学へと進み、千葉県庁へ就職しました。

私の実家は安川組という土建業で子供の時から、公務員が一番合っていると言われ、土木課を出て工業用水の建設関係で豊房ダム、郡ダム、人見浄水場等、6年間勤め、縁があり鹿島商店へ養子に入り、現在の仕事につきました。当時、葬儀業者は木更津市内に二社しかなく、市の福祉関係、警察関係は私共の会社に、ほとんどの依頼が持ち込まれ、福祉関係にはいろいろな仕事がありました。一番印象に残っている事例は、身元が判明し遺族が茨城県から来ましたが、奥さんと小学生を筆頭に四人の子供が来て、持ち金が全部で4万円とのこと、私は全経費分として、1万円だけいただき無事に送り出すという思い出もありました。

今の業界に入り、46年間になり、全国霊柩自動車協会、全国葬祭業協同組合の理事、千葉県支部長と役員をつとめてまいりましたので、商売の話をしたと思います。

最今、世間では「終活」という言葉が認知されはじめ、役所においても人生の最終章に向けて準備をする期間、またその行動を指す「ライフエンディングステージ」の創出を啓発しています。具体的には、人生の終末や死別後に備えた事前準備(生前からの準備)を行うことと、ライフエンドとその後の遺族等による生活の再構築の時間を指し、ライフエンドの準備を行いましょ。

ご家族や親しい方の「死」は、言葉に言い尽くせないほどの悲しみに直面します。誰にでも死は訪れることですが、日常生活ではなかなか考えたくはなく、あるいは考えることがあまりありません。

葬儀業者が遺族に接しておりますと「自分のことで遺された身内に負担をかけたくない」と考える方や「自分の思っているような葬儀ができなかった」と後悔をしたくないと考える方が多数いらっしゃいます。この様な方の為、事前に準備をすることが終活だと思います。

・豊田文智 会員 【(有)豊田 代表取締役】



建築資材関係全般の販売をしております、有限会社豊田であります。私は二代目ですが、私の父が資材会社を脱サラして、木材販売を始めておよそ60年は過ぎたと思います。

当時は、まだ多くの製材工場が木更津市内にはあり職員も沢山居たと思います。又、当時の住宅も沢山の木材を使用して建てていましたし、砂を運ぶ船も木造船で木材の需要もかなりあったと思われ、一時潮見に木材製材団地も出来大きな産業になったのですが、現在では木材の製材専門の工場は近郊にはほとんどなくなってしまったのが現状であります。私の会社はもとより建築資材の販売でスタート致しましたので、素材の生産は行わず、販売のみで生計を立ててきました。しかし、当初は木材の販売のみでありましたが、だいに木造建築の近代化による工法の進化により、木材の使用量の減少に伴い、売上が落ちこんでしまいました。代わりに合板、新建材の販売を本格的に始め、そして外壁材、住器など、住宅関連資材を出来る限り取り扱うようになりました、又今ではお客様の要望により関連工事も受けるようになっております。今では何でもやっていかなければいけない状態に現在なっております。今までは、簡単ではありますが現状の状態であり

ます。

ここで今木材業界ではどの様な活動をしているか少しお話をさせていただきます。ここにきて、国などからの要請で動いているようなものですが、木材業界で森林の整備をして行くことを要望されております。何故森林整備をして行くのかと申しますと、森林は、木材の生産だけではなく、二酸化炭素を吸収し貯蔵出来、又山林の土砂の流出をとめ崩壊を防止する効果や、多種多様な動植物の生育の場であり、文化や教育など多面的で公益的な機能を有しているから、森林は大切だと言う事だそうです。ですから、国は林業従事者には多くの補助金を出しており、高額な機械を購入する時には、申請が通れば補助金が受けられるそうです。裏を返せば補助金を出さなければ、林業は成り立たず林業に従事する者もいなくなってしまうと言う事でもあります。又、バイオマ

スの燃料になる木材にも補助金制度があり、現在多くの使えないような原木が高額で取引されてきておりますが、単価が良い為に、製品になるような丸太もバイオマスの燃料になってしまい、製品用の丸太が不足してしまっているのが現状のようです。いずれにしても、国の施策は森林を大事に育て、そこから建築資材大いに利用して、その後植林をして森林を育てていく循環型にして行くことを目指していると思います。現在木材業界は、日本の木材を利用してもらうように努力しているところです。

・浅野文夫会員【榊松本 代表取締役社長】



ご承知のとおり私が社長を務めている(株)松本は、鉄鋼製品流通業の末端に位置する会社です。鉄鋼製品の流通には大別して、「ひも付き流通」と「店売り流通」の二つのルートがあります。「ひも付き流通」とは自動車・造船・家電・大手建設などの大口顧客との間で直接的に一定期間単位での生産・注文量を契約して供給するルートで、主に三菱・三井などの総合商社が担当します。「店売り流通」というのは「在庫販売」とも言われ、需要先はとりあえず不明ですが在庫販売をする会社が一定数量をメーカーに注文して不特定多数の需要家に供給するルートです。私の会社は、この「店売り流通」の末端に位置する在庫販売会社です。

当社の顧客は、君津製鐵所をはじめその関連企業、また京葉コンビナートを構成する会社の設備に関わる鉄工所や地元の建設会社・設備工事会社など多岐にわたり、年間の取引先は300社を超えます。その顧客のほとんどが材料を在庫していませんので、その都度必要に応じて短納期で細かい注文に対応するというかたちで、当社の商売が成り立っています。こういうことから、顧客の日々の細かい注文にタイムリーに答えていくことでこの地域の産業振興に貢献していくことが私の会社の社会的使命ではないかと考えております。

私は2005年11月の新入会卓話で、社長に就任にして心がけていることとして「①販売先のニーズに遅滞なく応えて商品の安定供給を確保すること、②仕入先や金融機関などのステークホルダーに不安を与えないように経営情報の開示を積極的におこなうこと、③従業員が安心して働けるように経営情報の開示と処遇条件の明確化をおこなうこと」の三点を紹介して、これ自体も一つの職業奉仕の精神に基づく活動ではないかと述べています。この三点は現在も続けておりますが、

この時の原稿を今読み返してみると経営危機の状態から何とか抜け出すことができた当時の気持ちが滲みだしているような気がします。あれから13年が経過しましたが、この間ロータリーの推奨する職業奉仕についていろいろと議論し考える機会がありました。難しい議論もありますが、私自身は職業奉仕の考え方はロータリー活動の根幹にかかわる問題だと考えています。この平成の時代を振り返るとロータリアン社長の関わる不祥事が社会問題になったこともありまじ、最近では「働き方改革」が叫ばれ従業員処遇問題も難しくなっています。それだけに職業奉仕の精神をあらためて強調していく必要があるのではないかと考えています。

点鐘 足立宗禅副会長

★ オークラアカデミアパークホテル 例会食事

本日のメニュー

スモークサーモンサラダ仕立て
 野菜スープ
 若鶏のロール蒸し 野菜添え
 マスタードクリームソース
 パン
 デザート
 コーヒー



木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com